

平成 29 年第 2 回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

2月28日～3月1日

質問順位

【代表質問】

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 清 政 会
(岡村信吉) | 2. き ず な
(林 高正) |
| 3. 市 民 の 会
(宇江田豊彦) | 4. 日 本 共 産 党
(松浦 昇) |

【個人質問】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 坂 本 義 明 | 2. 田 中 五 郎 |
| 3. 谷 口 隆 明 | |

庄 原 市 議 会

平成29年3月定例会 一般質問

【代表質問】

順位	会派名 (質問議員)	項目	ページ
1	清政会 (岡村 信吉)	将来の庄原のあるべき姿について	1
		財政の健全化について	1
		農業振興について	2
2	きずな (林 高正)	施政方針について	3
3	市民の会 (宇江田豊彦)	施政方針について	4
4	日本共産党 (松浦 昇)	市民の暮らしを守ることに全力をつくすこと	6
		国保税を1世帯1万円軽減すること、国保の都道府県単位化で市民の負担をふやさないこと	6
		単なる滞納整理ではなく、滞納問題の根本的な解決を	7
		長期総合計画について	8
		核兵器禁止条約の締結をめざし平和首長会議が呼びかけている市民署名に取り組むこと	8

【個人質問】

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	坂本 義明	高齢者の交通対策について	9
		七塚原記念館の保存と活用について	9
		少子高齢化時代における若者の定住住宅施策について	10
2	田中 五郎	理想とする選挙について	11
		理想とする公務員像について	11
		こども未来広場予算について	11
		予算編成について	11
		水道事業会計について	11
		職員研修について	12
3	谷口 隆明	子どもの貧困対策及び子育て支援について	13
		市道の維持補修の強化を	13
		高齢者の交通手段について	13

一般質問日程

2月 28日 (火) 代表質問

3月 1日 (水) 個人質問

【代表質問】

順位	1	会派名	清政会	質問者	岡村 信吉
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 将来の庄原のあるべき姿について	<p>3月定例会初日において、平成29年度施政方針が述べられ、あわせて平成29年度予算案が提案された。施政方針において、結論として「次代につながる庄原市」の実現を確かなものにするため、庄原いちばんづくりをさらに深化させた取り組みが必要と述べられた。</p> <p>近い将来、大幅な人口減等を要因として、本市の社会経済状況の急激な変化が予測される中、施政方針には具体的に姿があらわれていない。10年、20年先の庄原市のあるべき姿を、市長はどのように描かれているのか伺う。</p>			市長	
2. 財政の健全化について	<p>新市誕生当初の財政の危機的状況から、「持続可能な財政運営プラン」や「公債費負担適正化計画」の堅持、実行により、危機的な状況が回避されたことは評価したい。</p> <p>しかしながら、平成28年度末市債残高は、一般会計、特別会計等を合わせて、まだ530億円程度を残す見込みである。</p> <p>次代に、より健全な財政状況を引き継ぐことは必須であり、こうした中で策定される新たな「持続可能な財政運営プラン」について、その基軸となる考え方を伺う。</p>			市長	

【代表質問】

順位	1	会派名	清政会	質問者	岡村 信吉
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
3. 農業振興について	<p>本市の基幹産業は、立地条件、歴史、実態からみても農林畜産業であり、循環経済の中心である。中でも主役となるのが米であり、大半の農家が稲作中心である。</p> <p>平成 29 年度予算案を初め、近年の予算措置においても、この米政策、とりわけ販売施策は見劣りしていると認識するが、所見を伺う。</p>			市長	

【代表質問】

順位	2	会派名	きずな	質問者	林 高正
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 施政方針について	<p>(1)「観光交流の推進では、観光振興計画に基づき、本市の基盤を生かした観光地域づくりを推進することとし、本市ならではの特色あるプログラムの開発により、体験型教育旅行の積極的な誘致に取り組んでまいります。また、訪日外国人観光客が増加する背景を踏まえ、本市へ誘致するためのプロモーション活動を行うとともに、多言語パンフレットの作成など、官民連携のもと受け入れ体制の充実に努めることといたします」とのことだが、これらの具体的な取り組み内容を示されたい。</p> <p>(2) 超高速情報通信網整備事業により、市民に何を提供しようとしているのか、改めて伺う。</p> <p>(3)「地域包括ケアシステムの構築にあたり、医療・介護・地域が連携して、高齢者の『住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けたい』という思いを支える体制を充実してまいります」とのことだが、その取り組みを具体的に示されたい。</p> <p>(4)「人口減少の抑制に挑戦してまいります」とのことだが、その決意を伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	3	会派名	市民の会	質問者	宇江田豊彦
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 施政方針について	<p>(1) 施政方針において、市長は4年間の取り組みと成果について、多岐にわたって述べられ、今後における具体的施策についても明らかにされている。</p> <p>しかし、国内外の政治、経済動向には、十分に触れられておらず、このことによって本市の経済状況がどのような影響を受けるかなど、市民生活の実態についての認識が明らかにされず、残念に思う。</p> <p>本来、施政方針を策定する基本は、市民一人一人の生活が、どのような状況にあるのか分析することによって始まると考える。</p> <p>今、市民生活はどのようなになっていると認識しているのか伺う。</p>			市長	
	<p>(2) 医療の充実について、市長は、庄原赤十字病院における高度・専門医療の充実、救急体制の確保をするための支援を続け、地域に必要な診療所の充実に努めることを明らかにされている。さらには、小児科診療所の開設も具体化し、産科医療再開に向けて新たな取り組みをスタートさせている。</p> <p>西城市民病院については、医師の確保、定着支援、医療機器の更新など、地域包括ケア拠点施設として、良質な医療の提供と安定的運営に努めるとされているが、この西城市民病院の具体的な今後の取り組みについて伺</p>				

順位	3	会派名	市民の会	質問者	宇江田豊彦
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 施政方針について	<p>う。</p> <p>また、これまで西城市民病院は、本市において、中核的な位置付けをされ、市民の期待も大きい病院である。今後も機能強化をめざすべきと考えるが、所見を伺う。</p>			市長	

【代表質問】

順位	4	会派名	日本共産党	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 市民の暮らしを守ることに全力をつくすこと	<p>「国保税や介護保険料がふえた、年金が減った、生活費がふえた、医療費がふえた、税金がふえた、収入が減った」など、アベノミクスで暮らしが悪くなったという市民のみなさんの切実な声が数多くある。</p> <p>歴代の政権が、国民健康保険や介護保険の国の負担を減らし続け、消費税の引き上げ、大企業・富裕層への減税などによって、さまざまな格差を拡大してきたことがその最大の原因である。</p> <p>市民の暮らしを守ることを最大の使命とする市長は、このような安倍暴走政治から市民の暮らしを守るため、全力をつくすことが求められていると考えるが、見解を伺う。</p>			市長	
2. 国保税を1世帯1万円軽減すること、国保の都道府県単位化で市民の負担をふやさないこと	<p>(1) 「国民健康保険税が高すぎる」という市民の切実な声にこたえ、他の特別会計に一般会計から援助（法定外繰入）していることに準じ、国民健康保険特別会計に一般会計から援助（法定外繰入）し、1世帯1万円を目途に軽減を行う必要があると考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 国民健康保険の都道府県単位化で、市が負担する事業費納付金、県標準保険税率、市の保険税率はどのようにして決まるのか。また、それがどの程度になると予測しているのか、あわせて伺う。</p>			市長	

【代表質問】

順位	4	会派名	日本共産党	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
2. 国保税を1世帯1万円軽減すること、国保の都道府県単位化で市民の負担をふやさないこと	<p>(3) 都道府県単位化により、市が負担する事業費納付金、県標準保険税率がこれまでの市単独のときよりふえる場合、市民の負担をこれ以上ふやすことは許されないと考えるが、市長の見解を伺う。</p>			市長	
3. 単なる滞納整理ではなく、滞納問題の根本的な解決を	<p>滞納問題は、生活に困窮している市民の皆さんのシグナルと捉え、単なる滞納整理ではなく、市政をあげて生活再建の支援に取り組み、根本的解決を図ることが強く求められている。</p> <p>(1) 滞納に対し、2016（平成28）年度に差し押さえを行った件数と内容を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 冒頭で指摘した観点から、関係する部・課長で「差し押さえの可否を審査」する仕組みをつくる必要があると考えるがどうか。市長の見解を伺う。</p> <hr/> <p>(3) 市民生活課などの庁内関係課やハローワークなどが連携し、生活再建の支援に取り組む仕組みをつくり、根本的な解決を図ることが必要だと考えるが、市長の見解を伺う。</p>			市長	

【代表質問】

順位	4	会派名	日本共産党	質問者	松浦 昇
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
4. 長期総合計画 について	<p>(1) 第2章第4節の「長期ビジョン」の(2)の「拠点機能の維持・強化」の中で、「行政サービスの提供をはじめ、道路や上下水道、情報通信などの基盤整備・維持管理において、すべての区域に同じ対応を「施す」ことは難しい」として、市政を「施す」ものと定義している。</p> <p>本来、市政は主権者である「市民が幸せに安心して暮らせるまちをつくるため」(まちづくり基本条例)にあるものであり、このような誤った定義は削除すべきだと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <hr/> <p>(2) 長期総合計画でいう「里山居住区域」とは、どのような地域を指すのか詳しく説明を求める。</p>			市長	
5. 核兵器禁止条約の締結をめざし平和首長会議が呼びかけている市民署名に取り組むこと	<p>国連は、核兵器禁止条約の締結を協議することを圧倒的多数で可決し、核兵器が史上初めて「違法化」されることが現実の課題となってきた。核兵器のない世界への扉を開くこの画期的な動きを实らせるため、平和首長会議が呼びかけている市民署名に、市長自ら署名するとともに、広く市民に呼びかけ、本庁、支所などに署名コーナーを設けるなど、本気の取り組みが必要だと考えるが、市長の見解を伺う。</p>			市長	

【個人質問】

順位	1	質問者	坂本 義明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 高齢者の交通 対策について	<p>(1) 高齢者による自動車事故が最近特に取り上げられ、大きな課題となっている。認知症、加齢による判断ミス等、社会問題にもなっているが、市としてどのように現状を捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 高齢者の自動車運転免許証の自主返納に対する市の支援策は、どのようなものがあるのか伺う。</p> <p>(3) 特に、80歳以上の高齢者への交通手段確保支援策が重要であるが、市としての考えを伺う。</p>		市長
2. 七塚原記念館 の保存と活用 について	<p>(1) 七塚原記念館は、全国的にも貴重な近代畜産技術を伝える資料館であり、七塚原のシンボルともいえる施設である。現在、大変建物の痛みが激しいが、市としてどう認識しているのか伺う。</p> <p>(2) 地域の貴重な資源であるこの施設は、県の施設であるが、県と協力して保存活用はできないか。あるいは、市単独での保存活用方策は取らないのか伺う。</p>		市長 教育長

【個人質問】

順位	1	質問者	坂本 義明	項目	質問の小項目及び要旨	答弁を 求める者
				3. 少子高齢化時代における若者の定住住宅施策について	<p>早急に若者定住住宅を具体化すべきであり、各支所付近に若者が住みたくなる住宅を好条件で整備すべきと考える。例えば、家賃の無料化、一定年数を経過すれば譲渡するなどの施策はどうか。</p> <p>具体化に向けて先進地の情報を参考にするなど、早急に行動すべきと思うが、市の考えを伺う。</p>	市長

【個人質問】

順位	2	質問者	田中 五郎
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 理想とする選挙について	選挙は、人づくり、まちづくりの最大のチャンスだと考える。今回の市長選挙、市議会議員選挙について、関心が低いこと、立候補者が少ないこと等をどのように捉えているのか伺う。		市長
2. 理想とする公務員像について	地方自治において、市長・議員・職員のあるべき姿をどのように考えているのか伺う。		市長
3. こども未来広場予算について	現在の計画に至ったことについて、その経過・内容において反省点はないか伺う。		市長
4. 予算編成について	<p>(1) 電源立地地域対策交付金は、ダム発電によって不利益を受けた地域のためにつかうべきではないか伺う。</p> <p>(2) 総領地域の6つの自治振興会館は、なぜ指定管理を継続するのか伺う。</p>		市長
5. 水道事業会計について	<p>(1) なぜ、職員人件費が一般会計に比べて高いのか伺う。</p> <p>(2) なぜ、全事業を正職員で対応しているのか。外部委託すべきではないか伺う。</p> <p>(3) なぜ、多額の現金預金を無利子預金で管理しているのか。もっと有効な資産管理をすべきではないか伺う。</p> <p>(4) 「最小の経費で最大の効果を上げること」と「料金値上げ」との矛盾をどのように考えているのか伺う。</p>		市長

【個人質問】

順位	2	質問者	田中 五郎
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
6. 職員研修について	<p>(1) アサード視察研修の成果は、新年度予算にどのように生かされているのか伺う。</p> <hr/> <p>(2) 観光交流事業は、「庄原いちばん」ではなく、「世界いちばん」でなければならない。そのために、100万円研修で100万ドルプロジェクトを実施すべきではないか伺う。</p>		市長

【個人質問】

順位	3	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 子どもの貧困対策及び子育て支援について	<p>(1) 子ども医療費無料化の18歳までの拡充や第2子の保育料の無料化等に踏み出す考えはないか伺う。</p> <p>(2) 憲法第26条は、「義務教育は、これを無償とする」としており、国の責任による学校給食費の無料化が喫緊の課題である。現在、半額補助など一部補助を行っている自治体が362市町村、無料化が55市町村に広がっている。学校給食費の無料化についての本市の考えを伺う。</p>		市長 教育長
2. 市道の維持補修の強化を	<p>日本共産党庄原市委員会が行った市民アンケートの回答に、「市道が穴だらけ」との声がたくさん届いている。市道の維持補修を計画的に進めるべきと考えるが、基本認識を伺う。</p>		市長
3. 高齢者の交通手段について	<p>高齢者が免許証を返納した後の交通手段確保に不安の声が寄せられている。どこに住んでいても安心して暮らせることが一番重要であるが、地域生活バスや市民タクシーで全てをカバーすることはできないと思う。今後、広大な市域における高齢者の移動について、何らかの対策が必要になってくると考えるが、市長の見解を伺う。</p>		市長